



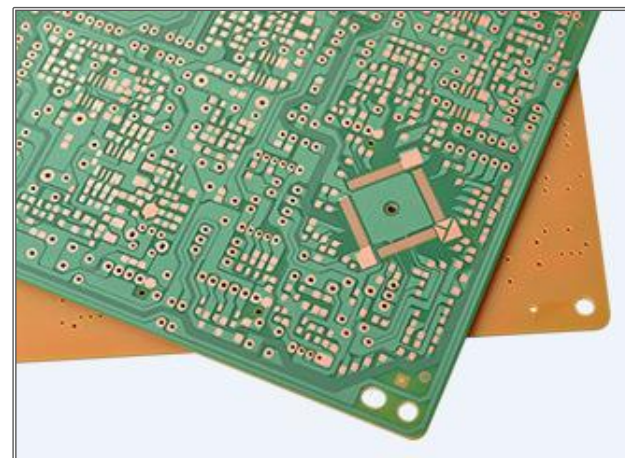
株式会社 京写 会社説明会

株式会社 京写

証券コード：6837

2023年12月2日

1. 会社紹介 P. 3～ 9
2. 京写の強み P.10～17
3. 中期経営計画 P.18～31
4. 株主還元 P.32～34





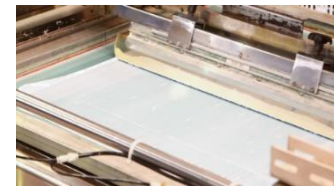
1. 会社紹介

- **社名** 株式会社 京 写
- **代表者** 代表取締役社長 児 嶋 一 登
- **所在地** 京都府久世郡久御山町森村東300番地
- **設立** 1959年（昭和34年）2月
- **上場** 東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：6837）
- **資本金** 1,102百万円（発行済株式数 14,624千株）
- **事業内容** プリント配線板及び実装搬送治具の製造販売
- **主要製品** 片面プリント配線板、両面プリント配線板、多層プリント配線板
電子部品実装、実装搬送治具
- **従業員数** 連結 1,301名
- **主取引先** 自動車関連、家電製品、事務機、電子部品・電子機器
その他（映像関連、音響機器、アミューズメント等）
- **決算日** 3月31日
- **関係会社** 連結子会社数 10社（2023年9月30日現在）

沿革

1951年 創業：京都の伝統産業京友禅の染型(写真型)の製造販売

創業から
事業転換



1967年 プリント配線板事業へ進出：染型の印刷技術を活かし事業転換

1993年 香港に販売拠点を設立

1994年 中国、インドネシアに片面プリント配線板の生産拠点を設立

1999年 株式会社店頭公開（現 東証スタンダード市場）

事業拡大

海外拠点・
実装関連事業の
展開

2004年 マレーシアに販売拠点を設立

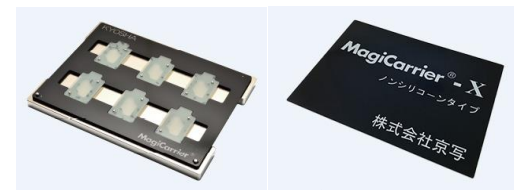
2007年 アメリカに販売拠点を設立

2008年 三和電子株式会社(実装事業)を子会社化

2010年 タイに販売拠点を設立

横浜に搬送用治具の開発拠点を設立

2016年 メキシコに販売拠点を設立



実装搬送治具

さらなる
成長に向けて

2019年 ベトナムに両面プリント配線板の生産拠点を設立

メキシコに搬送用治具の生産拠点を設立

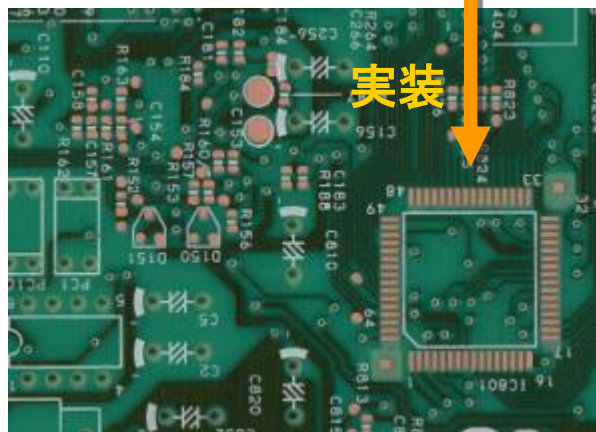
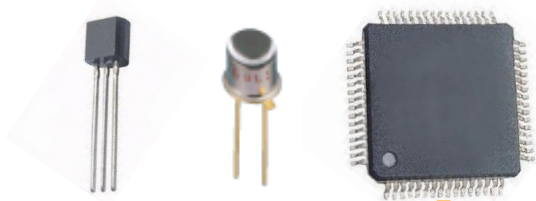


京写ベトナム

プリント配線板とは

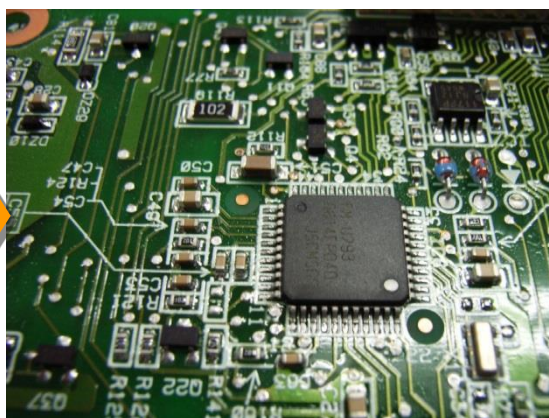
プリント配線板は、あらゆる電気製品で使用され、半導体チップ、コンデンサ等の電子部品を電氣的に接続するために無くてはならない部品です。

【半導体チップ等】



【プリント配線板】

【実装後】



【完成品】



※上記写真については、一般的にプリント配線板が使用されている製品例を示したものです。

プリント配線板の種類と主な用途

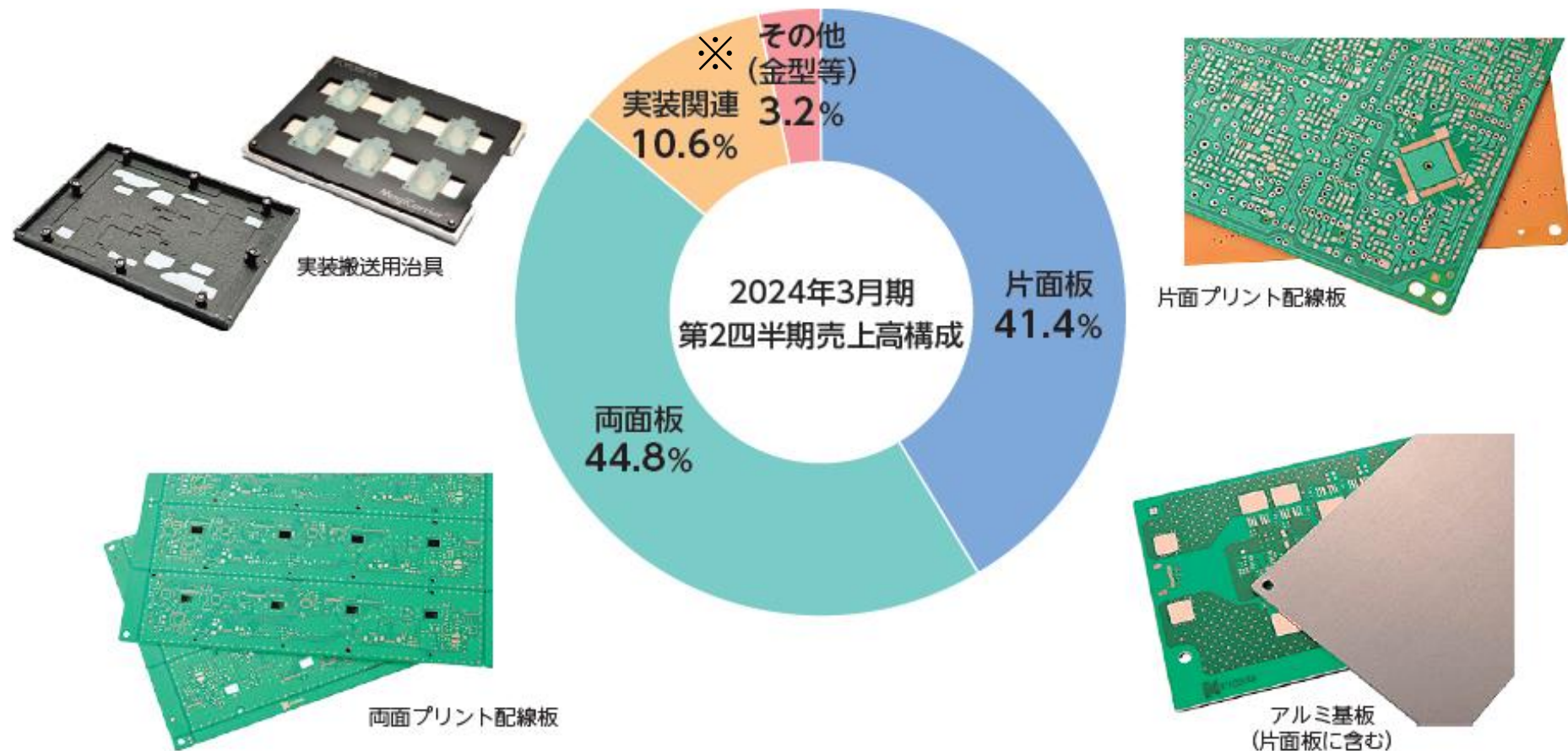


プリント配線板の種類	京写グループ 生産拠点	説明	主な用途
ビルトアップ基板		層毎に積上げる工法で 製作した高密度多層基板	<ul style="list-style-type: none"> ◆半導体 ◆通信機器(スマートフォン等) ◆精密機器(デジタルカメラ)
多層基板		両面にだけでなく内部 にも導体パターンを構成 する基板	<ul style="list-style-type: none"> ◆パソコン (ハードディスク, ネットワーク機器などの 各種コンピュータ周辺機器) ◆自動車 (エンジン, ECU(電子制御装置)等)
両面基板	日本 中国 ベトナム	両面に導体パターンを構 成し銅メッキで両面を導 通する基板	<ul style="list-style-type: none"> ◆自動車(ライト, イルミネ等) ◆アミューズメント機器 (ゲーム機)
銀スルーホール基板	中国	両面板の一種で銀ペースト で両面を導通する基板	<ul style="list-style-type: none"> ◆自動車(カーオーディオ) ◆事務機(OA端末)
アルミ基板 片面基板	日本 中国 インドネシア	アルミ材の片面に導体パタ ーンを構成する高放熱基板 片面のみに導体パターン を構成する基板	<ul style="list-style-type: none"> ◆電子部品(モーター, 電源等) ◆家電製品(LED照明機器・ エアコン・テレビ・洗濯機・冷蔵庫等) ◆事務機 (複写機, プリンター等)

高
価格
↑
京写グループの事業領域
↓
低

主要製品売上高構成

■ 主要製品は3種類でベトナム拠点の売上が寄与し両面板の割合が拡大

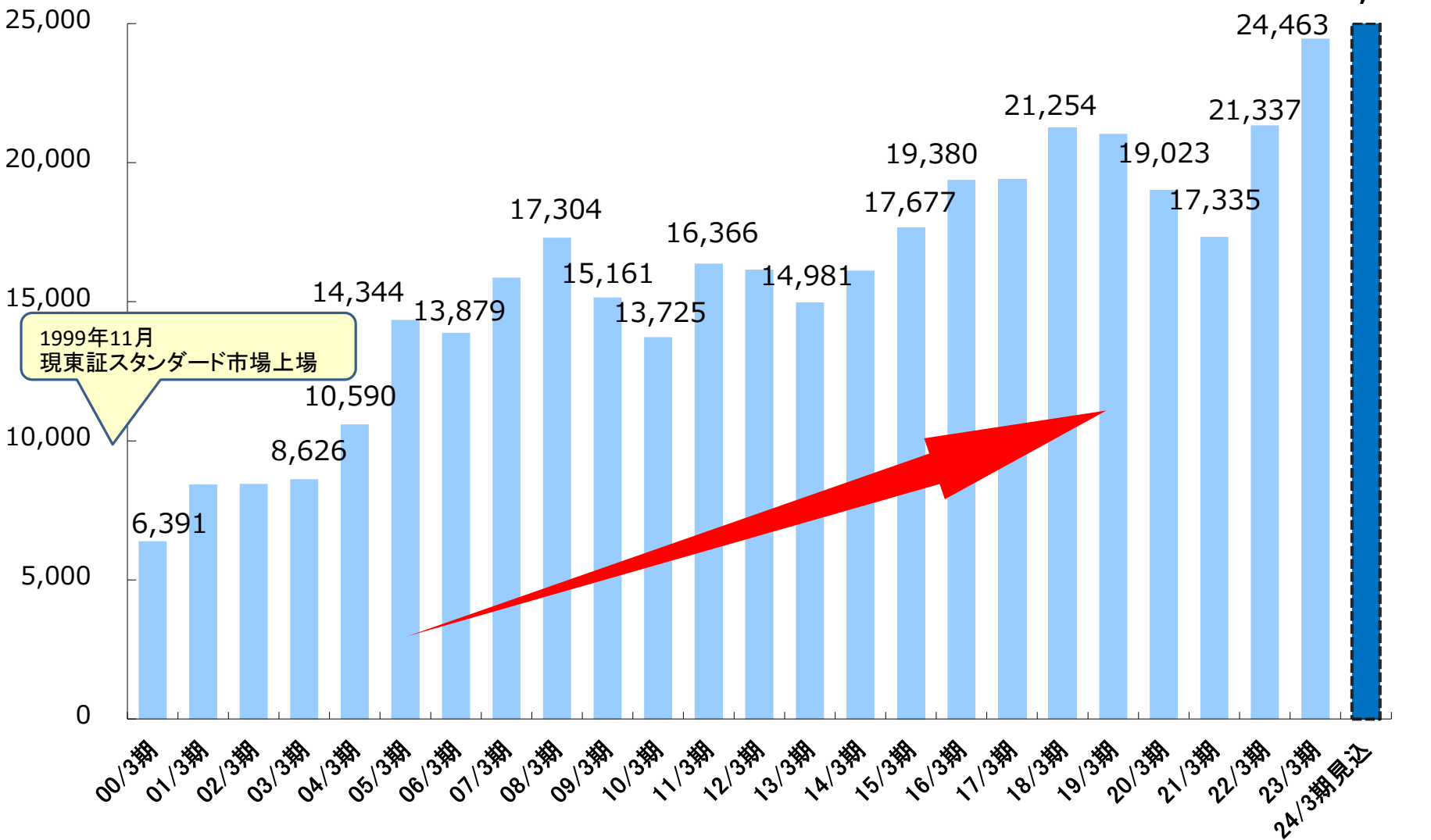


※実装関連は、プリント配線板にICチップ、コンデンサ等の電子部品を配置・接続する「**実装事業**」と電子部品を効率良く実装するために用いられる「**実装搬送用治具事業**」の売上。
 その他 (金型等) は、プリント配線板を製造する際に使用する金型や設計等の売上。

上場以降の売上高推移

■ 事業拡大にともなう持続的な成長

売上高 (百万円)



A faint, light gray world map is visible in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a vertical line and a horizontal line intersecting at a central point. The vertical line is black, and the horizontal line is black. The intersection is filled with a square divided into four quadrants: top-left is blue, top-right is red, bottom-left is yellow, and bottom-right is white.

2. 京写の強み

強み1 グローバル供給体制 – 片面板 世界最大の生産能力



➤ 日本、中国、インドネシア、ベトナム、メキシコから世界中へ供給



京写ベトナム



京写広州



京都本社



九州工場



新潟工場

【販売会社】
 ・アメリカ・メキシコ
 ・香港・中国
 ・タイ・マレーシア



京写インドネシア



関東TEC(横浜)

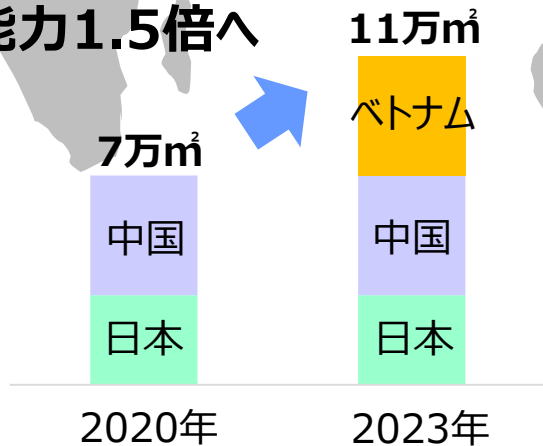


三和電子(岡山)

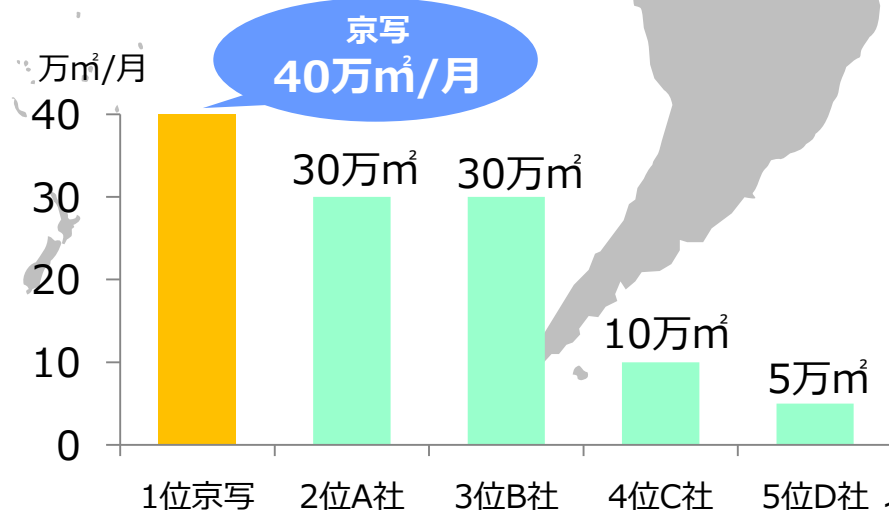


京写メキシコ

両面板はベトナム拠点事業拡大
 生産能力1.5倍へ



片面板で世界最大の生産能力

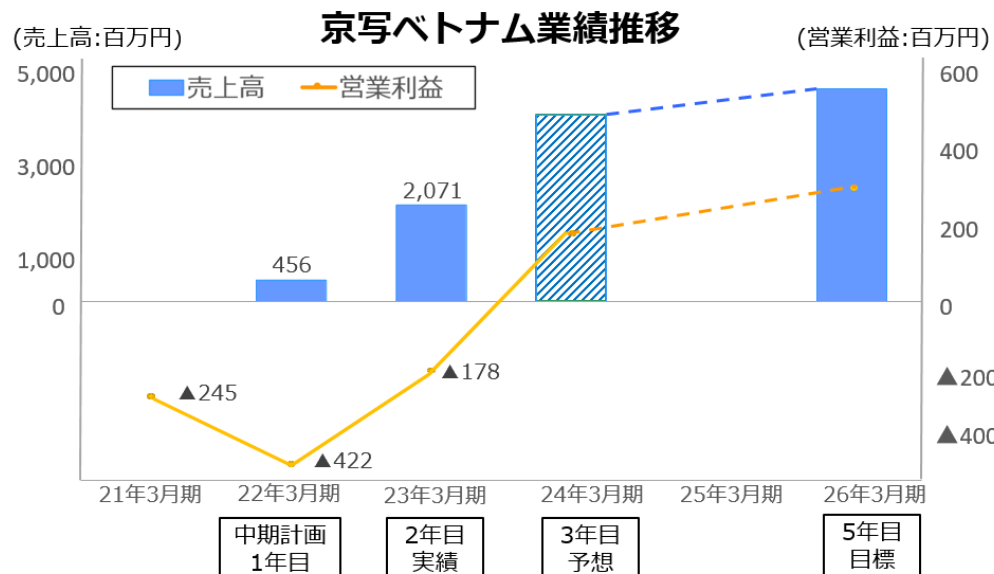


【TOPIC】両面板事業の海外展開 ベトナム

- 京写ベトナムは、主に自動車分野向けに需要拡大が続く、両面板のグローバル供給拠点として2021年1月より第1期投資1ライン体制で生産を開始、北米やASEAN地域、日本に製品を供給
- 2023年8月第2生産ラインが完成し、**生産能力はこれまでの2倍の月産4万㎡に拡大**
顧客の旺盛な需要とグループ内製化強化による生産量増加に対応し増設、今後も事業拡大を目指す
- ジェトロ海外サプライチェーン多元化支援事業に採択
ベトナムの第2生産ライン拡大は、生産拠点の多元化により、製品供給が安定し日本とASEAN地域のサプライチェーンの強靭化に寄与する事業と認定



工場外観(全景)



■ 京写ベトナム概要

- ・所在地：ハノイ市 ドンバン3工業団地
- ・設立年月：2019年1月25日
- ・資本金：USD15,000,000
- ・敷地面積：35,044㎡
- ・工場面積：12,934㎡(第1期)
- ・生産能力：両面板40,000㎡/月(第1期)
- ・総投資額：約USD36百万(第1期2ライン体制)

【TOPIC】京写ベトナム オープニングセレモニー開催

■ 2023年11月24日 日越の政府・行政当局、顧客・サプライヤー等多くの関係者が列席



【TOPIC】京写ベトナム 現地ニュース映像

- 地元ハナム省のニュースとして京写ベトナム開所式の様子が紹介されました



連結 用途別売上

成長分野の自動車関連や環境に配慮した家電製品向けを中心に幅広い用途に製品を供給



実装搬送用治具



LED式ランプ



メーターパネル



ドアロック



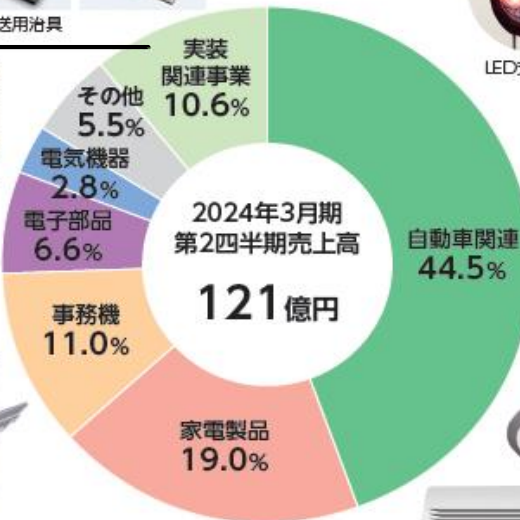
スマートメーター



スイッチング電源



事務機



パワーウィンドウスイッチ

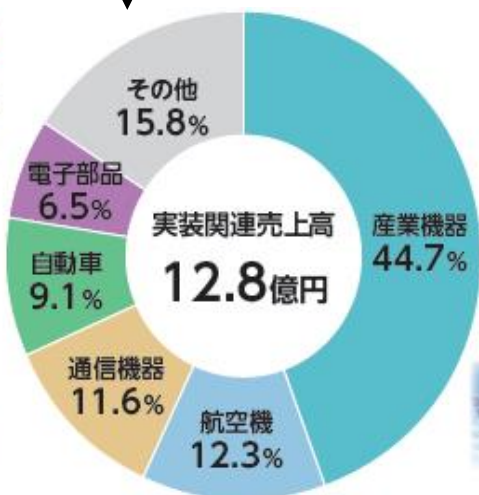
LED照明 (LED lighting)



客席モニター



コネクター



配電盤、電源



スマートメーター



実装関連 用途別売上

主力の産業機器、航空機向けに加え新規市場開拓の通信機器向け好調

自動搬送装置 (Automated transfer device)

➤ 印刷技術の京写が繰り出す “もう一つの付加価値”

■ ノンシリコンタイプ粘着キャリア (MagiCarrier-X)

世界発！スクリーン印刷法による治具製造技術をベースに、
ノンシリコンタイプでも高温工程で繰り返し使用可能



■ 0603実装部品対応基板

印刷法で0603サイズの小型電子部品に
対応した基板製造技術を開発

電子部品の急速な
小型化に対応



3216サイズ = お米



1005サイズ = ゴマ

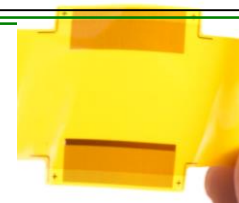


0603サイズ = いちごの種

■ プリントブル基板(銅インクフィルム基板、ストレッチャブル基板)

スクリーン印刷によりフィルム(銅ペースト)や
伸縮性の素材に直接回路を形成

低コストで環境にやさしく(廃液不発生)、自由なデザインが可能



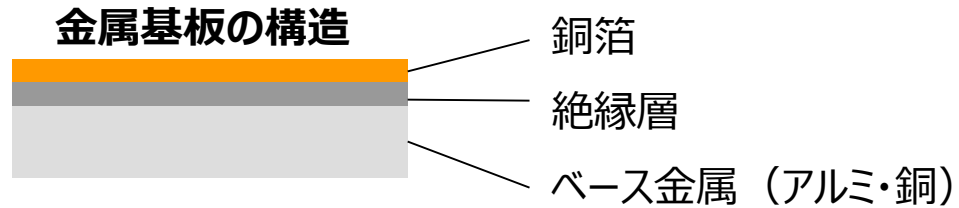
■ 超厚銅基板

銅ベース層により『高放熱性』と『高絶縁性』を実現
再生可能エネルギー分野のパワー半導体向けに開発



新商品の「**金属基板**」は素材がアルミ等の金属、放熱性が高く**自動車向けLEDヘッドライト**などの高い熱を発する製品で需要が拡大

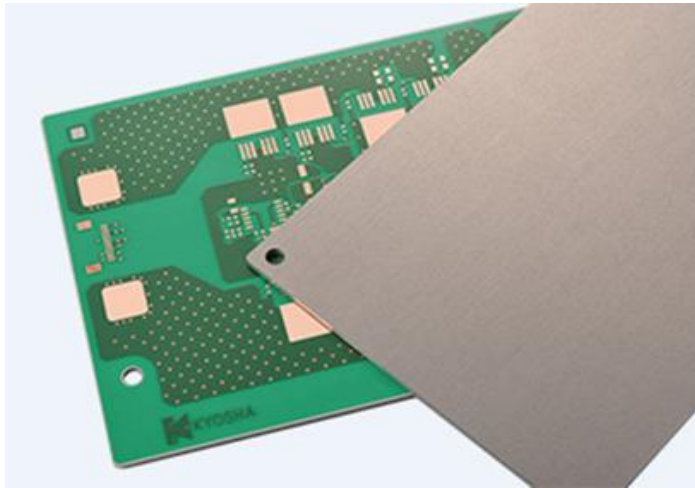
金属基板は片側のみに配線があり、当社の主力製品の片面プリント配線板と同じ構造です



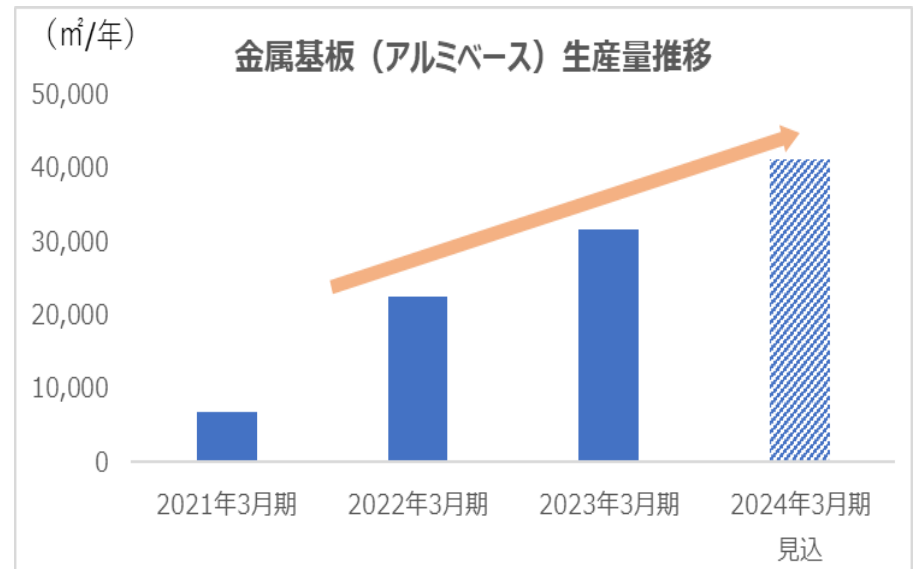
■ 当社金属基板の特徴

- ①「**スクリーン印刷**」で製造、他社製法の「写真法」と比べ約2倍の生産性
- ②印刷精度が写真法と同等の品質
- ③上記による高い価格競争力

これらの特徴から現在は中国工場で順調に生産量を拡大、今後は九州工場での量産も計画



金属基板（アルミベース）





3. 中期経営計画

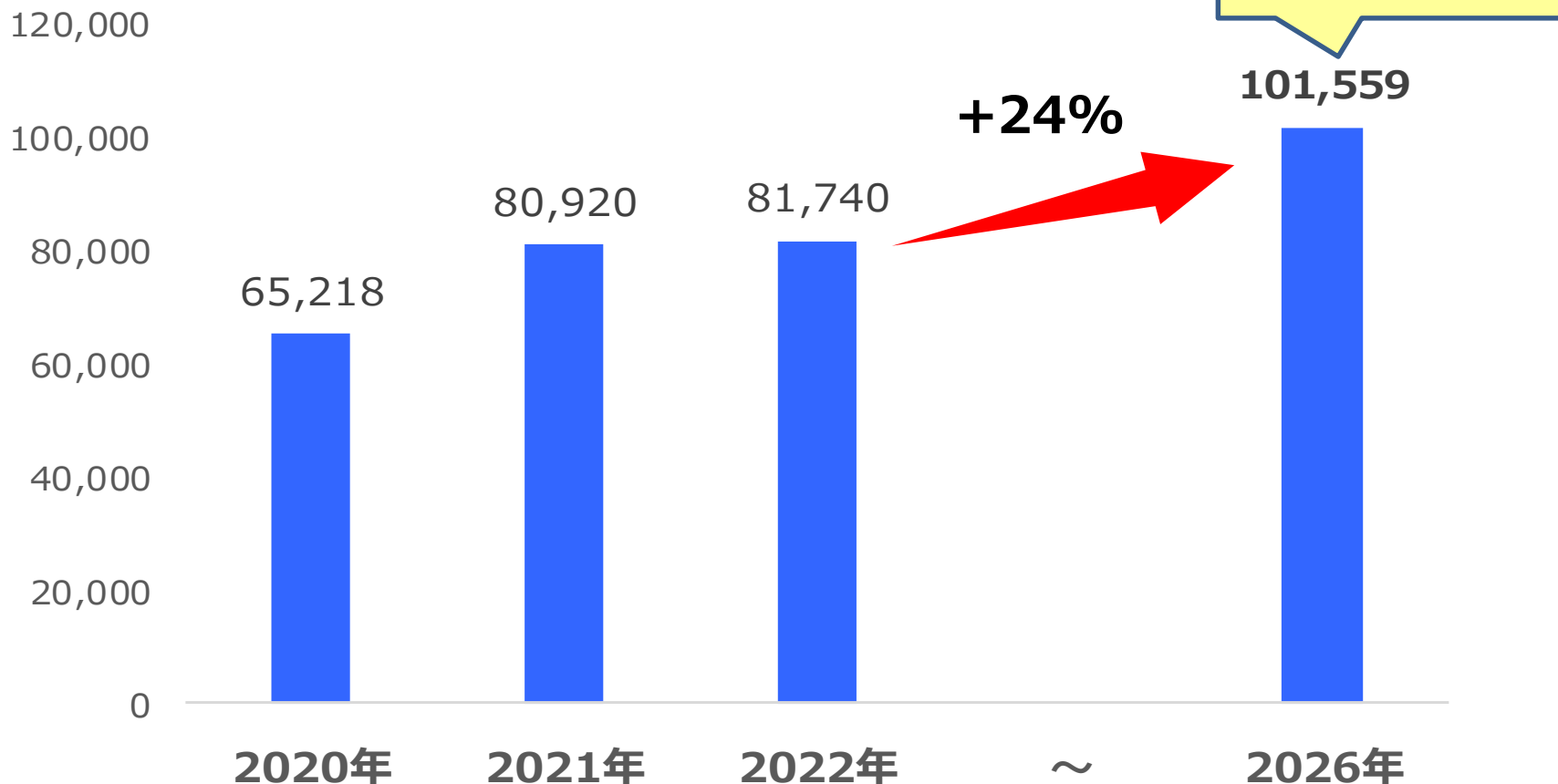
2022年3月期～2026年3月期(5年計画)

プリント配線板の市場動向（世界市場）

■ 今後も世界のプリント配線板需要は拡大の見込み

世界プリント配線板市場規模

(単位：US\$百万)



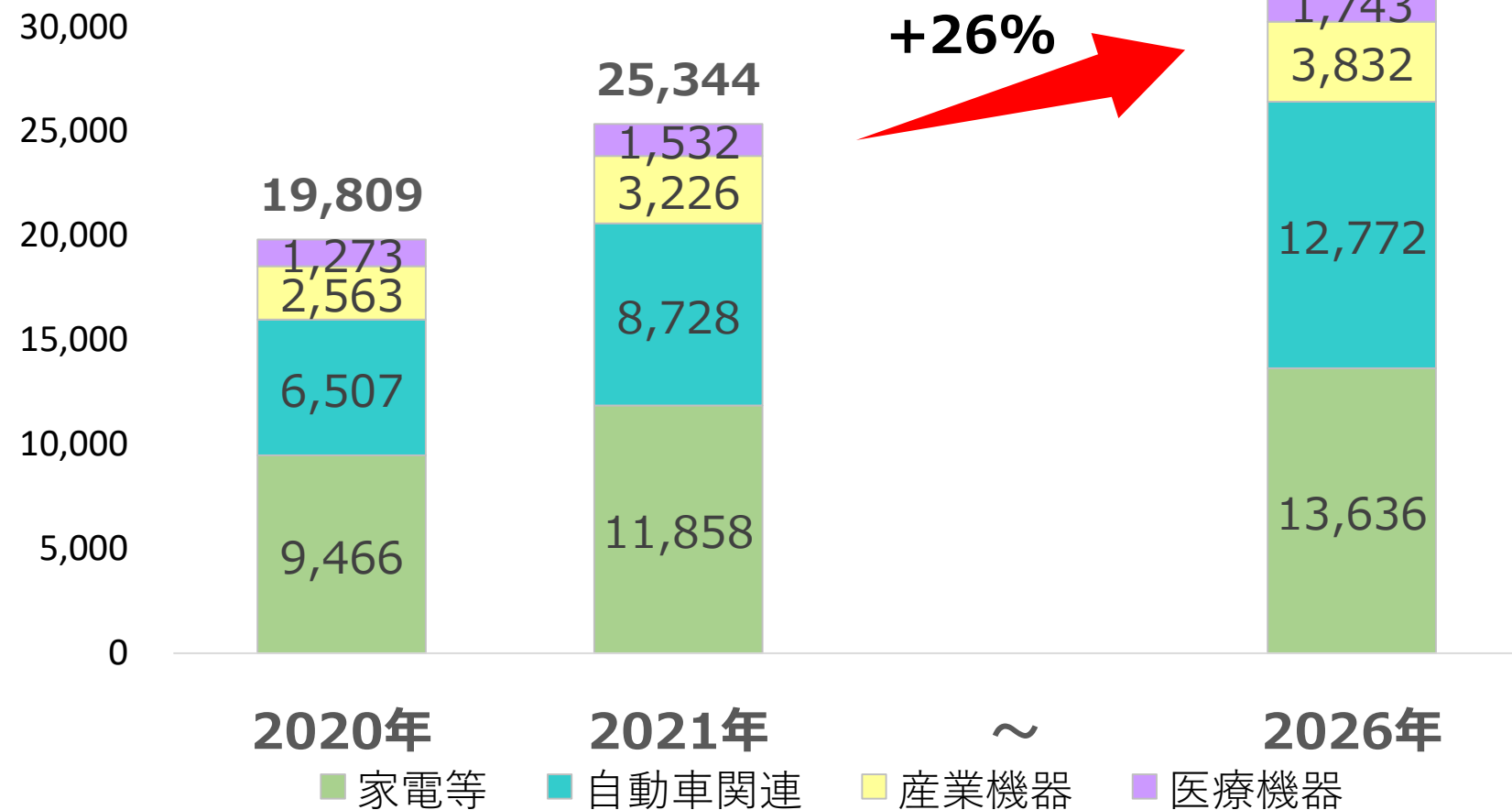
用途別のプリント配線板市場動向（世界市場）

■ 京写がターゲットとする車載、家電、産業機器などで需要拡大

約4.6兆円

(単位：US\$百万)

用途別需要予測



経営ビジョン

一流になる

スローガン

Build Trust (信頼関係の構築)

基本戦略

企業間連携を最大活用し、独自技術に磨きをかけ
グローバルニッチトップメーカーになる

①グローバル生産・販売戦略

主旨

グローバル供給体制によるソリューションの提供

市場動向

・サプライチェーン分散化の加速 ・ASEAN(ベトナム)の成長 ・自動車電装化、EV化の進展 ・再生可能エネルギー、インフラ市場拡大、5Gの普及

重点施策

①最適な供給網の再構築

- ・ベトナム工場第1期フル稼働
- ・両面事業・営業拠点の再編

②車載・再生可能エネルギー分野向け

両面・金属基板事業の拡大

- ・技術提案型営業の推進

③片面シェア拡大による業界最大の利益確保

- ・圧倒的低コストでのものづくり

④基板・実装・治具の販売シナジー最大化

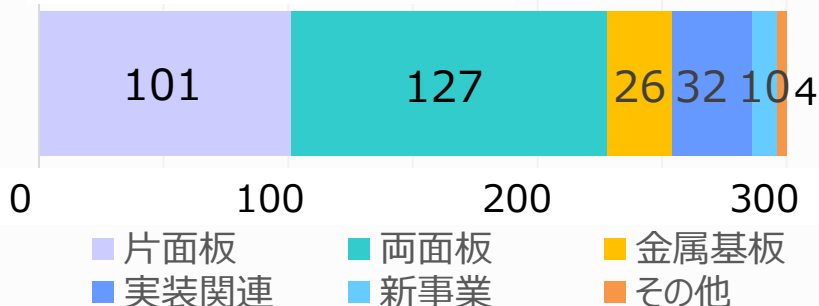
- ・グループ内連携による拡販
- ・外資系メーカーへの拡販

2026年3月期目標

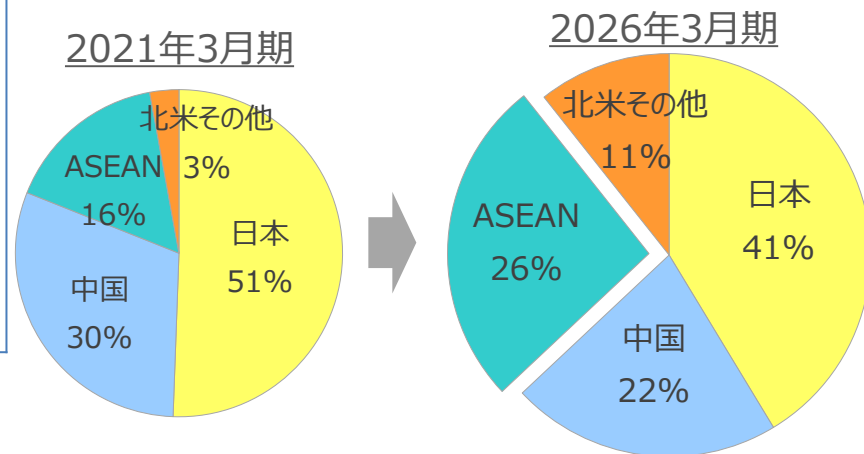
製品別売上 (300億円)

両面板・金属基板の拡大

単位：億円



地域別売上割合 ASEAN(ベトナム)地域拡大



② 企業間連携戦略

主旨

戦略的ネットワークによる競争優位の獲得

市場動向

・自動車電装化・EV化の進展、再生可能エネルギーのイノベーション等、
技術高度化・ニーズ多様化の加速

重点施策

① 顧客・仕入先との連携

- ・EMSメーカー・商社との連携マーケティングによる製品開発、販路拡大
- ・材料メーカーとのタイアップによる新商品開発

② 同業他社との相互補完関係の構築

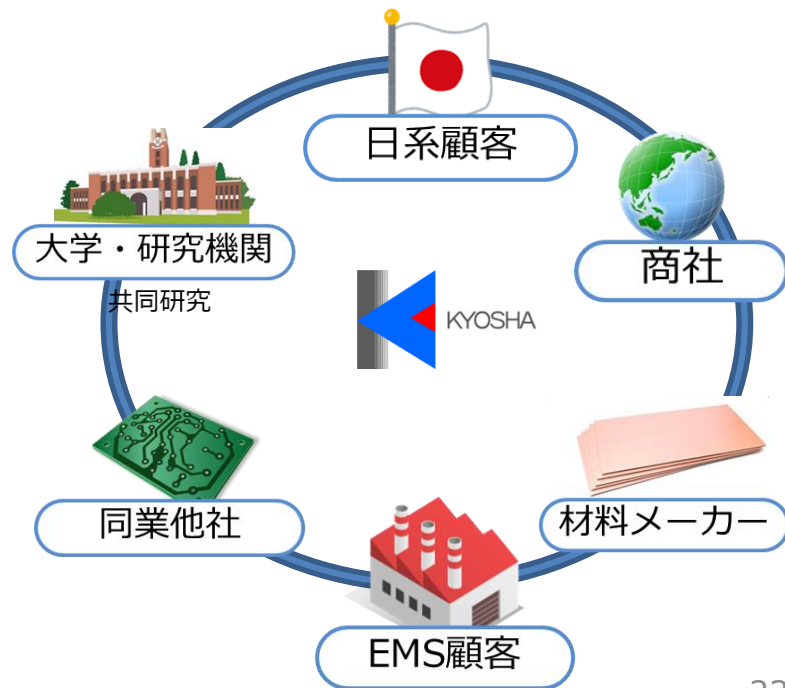
- ・同業他社との連携によるベトナム両面板増産
- ・設計・試作会社との連携による受注拡大

③ 技術の共同開発

- ・産学連携による技術・ビジネス開発

目標

- ① 販路拡大・新市場開拓
- ② 提携シナジーによる事業拡大
- ③ 新製品開発（コア技術確立）



③効率化戦略

主旨

自動化、IT化及びDX推進による生産性向上

市場動向

- ・人材不足、人件費高騰によるデジタル技術の進展
- ・コロナ禍によるビジネスモデルの抜本的変革
- ・コスト対応力の要求

重点施策

- ①**自動化、IT化による生産効率向上**
 - ・自動化による工数・ロスタイムの削減
 - ・新工法活用による生産量拡大
- ②**DX活用による業務効率化推進**
 - ・基幹システムによる見える化・効率化
 - ・DX推進による業務の見直し
- ③**トヨタ生産方式の水平展開**
 - ・ムダの排除による小ロット対応の最適化
 - ・設計強化による付加価値提案(VE)

2026年3月期目標

営業利益	16億円
利益率	5.3%



京写ベトナムIT化



自動化(ロボット化)推進

④技術戦略

主旨

コア技術の深化によるニッチ・成長市場の開拓

市場動向

環境負荷低減、省エネルギーや小型化・高密度化ニーズの高まり

重点施策

①市場ニーズに基づく開発資源の集中

- ・プリントブル関連基板の事業化
- ・0603対応微細基板の技術提案

②超厚銅基板の技術確立

- ・厚銅エッチング技術確立、量産化

③付加価値のある印刷技術の追求

- ・大板印刷・Cuペースト印刷の技術確立

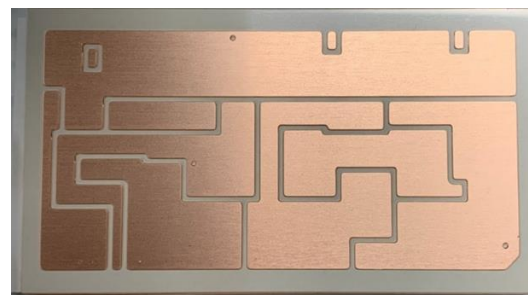
④生産技術を活用した新用途・新工法の開発

- ・自動機(ロボット)や工程革新のための研究開発
- ・治具の新用途開発

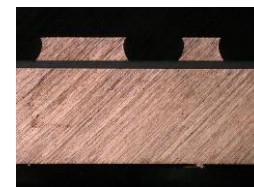
2026年3月期売上目標

環境対応商品

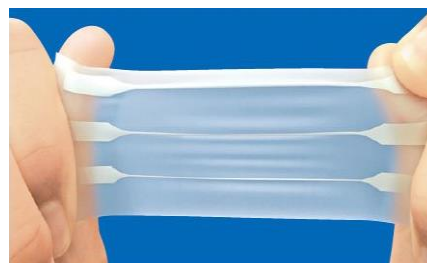
10億円



超厚銅基板(外観)



(断面)



プリントブル基板
(ストレッチャブル基板)

⑤財務戦略

主旨	将来の成長実現に向けたキャッシュ・フロー経営
市場動向	米中貿易摩擦長期化、サプライチェーン分散化の加速によるASEAN(ベトナム)の成長、世界経済の回復見通し

重点
施策

① 持続的成長に向けた集中と選択による投資

- ・将来の成長事業への優先投資と早期収益化による投資回収

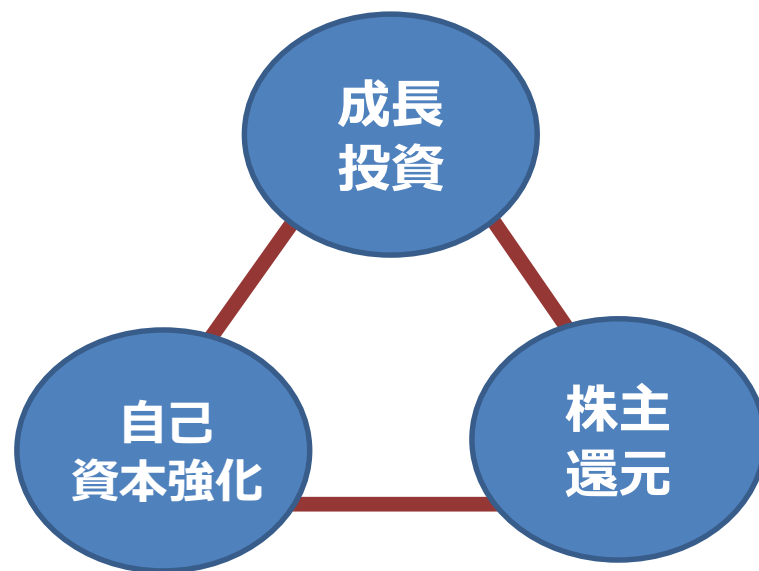
② 自己資本の強化

- ・収益力強化による自己資本の充実
- ・有利子負債の適正化
- ・生産リードタイム短縮、棚卸資産・売上債権の圧縮による資本効率化

③ 持続的・積極的な株主還元

2026年3月期目標

ROE	10%
配当性向	25%



⑥ 人財戦略

主旨

社員一人ひとりの能力開発と活躍による企業価値向上

市場動向

デジタル技術(DX)の進展加速、働き方の多様化、生活・仕事への価値観の変化、キャリア形成意識の向上、CSRに対する社会的要求の高まり

重点施策

① 社員満足度の向上

- ・働きやすい職場環境づくり
 - DX活用による働き方改革
- ・人事制度の見直し
 - 評価制度・業績連動型報酬

② 多様な人材能力の発揮

- ・グローバル人材、グローバル人材

③ マネジメント人材の育成

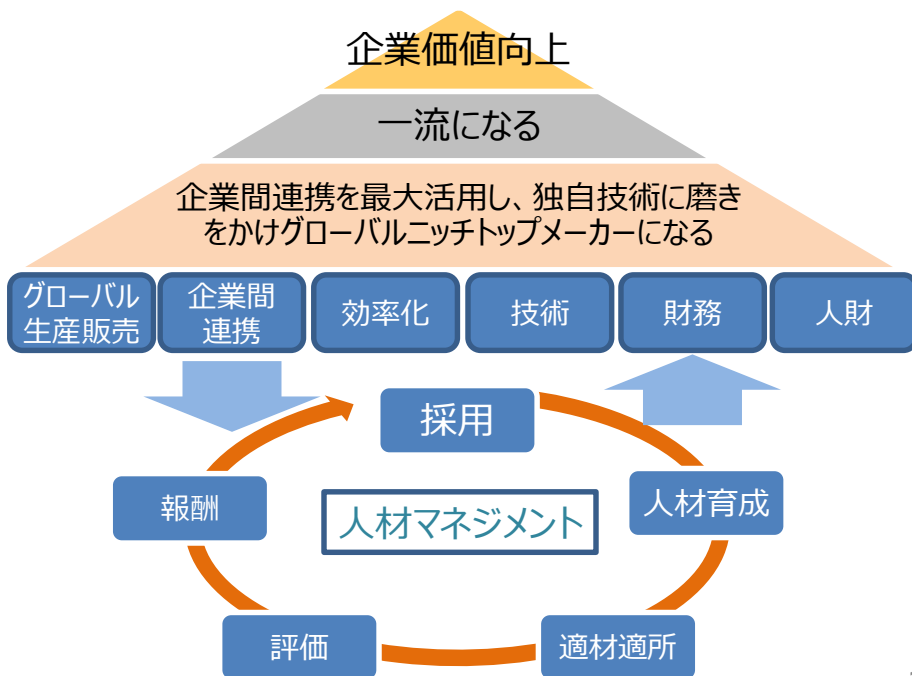
- ・後継者育成、マネジメント育成

④ 信頼と安全の体制づくり

- ・グループCSR体制の推進
 - ESG・SDGsの取組み
 - コーポレートガバナンス対応

目標

- ① 従業員が誇りに思える会社づくり
- ② スキルのレベルアップ
- ③ 高度な業務知識の向上
- ④ ESG課題の解決とコンプライアンスの徹底



中期経営目標

経営目標

2026年3月期

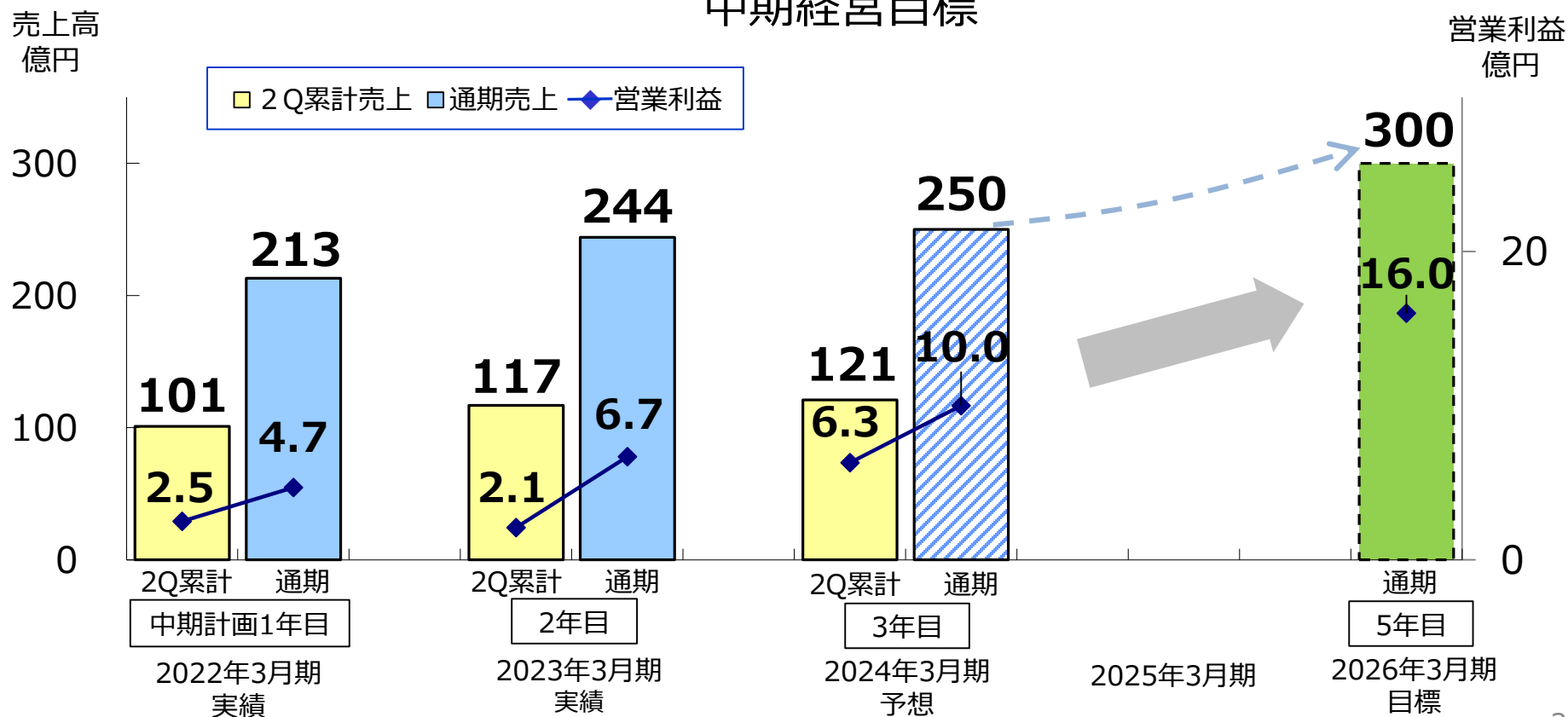
売上高 300億円

営業利益 16億円

営業利益率 5.3%

ROE (自己資本利益率) 10%

中期経営目標













サステナビリティへの取組み

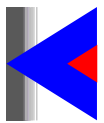
サステナビリティ方針とESGに配慮した事業活動

■ サステナビリティ方針

京写グループは、経営理念、経営基本方針、行動規範に基づき事業活動を実践し、お客様、株主、投資家、従業員などすべてのステークホルダーとの信頼関係を構築することで、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

■ 事業活動によるESG、SDGsへの取組み

ESG	SDGsの目標	京写の取組み
E 環境	  ・水の利用効率の改善 ・地球温暖化防止(CO2削減) ・化学物質の使用量削減 ・廃棄物の削減 ・エネルギー効率の改善	・水,電気,インクの総使用量と原単位使用量削減 ・廃棄量の削減 ・自社開発の環境配慮型製品(ECOMAP)の市場浸透 ・環境対応、省エネ向け製品 シェアの拡大
		
S 社会	  ・適切な雇用創出 ・強靱なインフラの開発 ・製造業のサプライチェーンの強化とバリューチェーン拡大	・京写ベトナムによる両面板サプライチェーン体制の強化
	  ・質の高い教育の推進 ・ジェンダー平等、女性活躍推進 ・社会貢献活動	
G ガバナンス	 ・企業倫理の徹底と法令順守	・サステナブル体制の推進



【TOPIC】三和電子 太陽光発電導入ー持続可能な社会の実現へ

- サステナビリティ方針に基づき、環境に配慮した事業活動を行い、SDGsの「地球温暖化防止」の目標達成を目指す一環として、子会社の三和電子で太陽光発電設備を設置
- 三和電子で使用する**電力使用量の約14%**を太陽光発電で賄い、**年間約161tのCO2排出量の削減**を見込む併せて、太陽光パネルの遮熱効果により電力削減を図る

- 太陽光発電設備の概要
 - ・発電開始：2023年8月
 - ・設置場所：三和電子(株)工場屋根
 - ・太陽光パネル：845枚
 - ・年間発電量：200,000kwh(見込)
 - ・CO2削減量：161t/年(見込み)



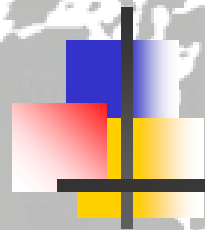
三和電子の工場屋根に設置した太陽光パネル

三和電子の概要

会社名：三和電子株式会社（岡山県津山市）
設立年月：1980年10月
資本金：1,500万円
事業内容：基板実装・組立、実装搬送治具の製造及び完成品の組み立て



工場全景

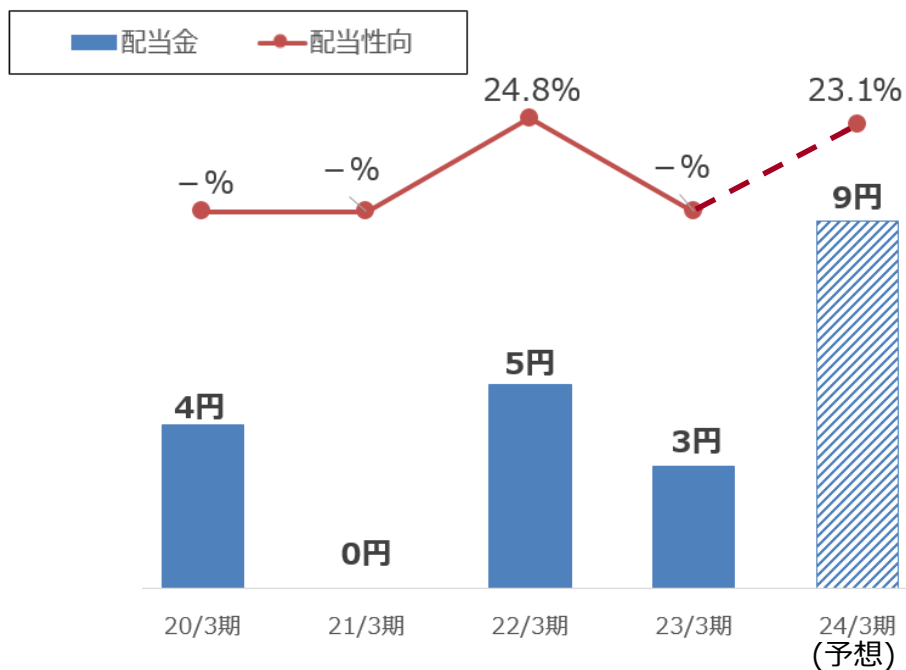


4. 株主還元

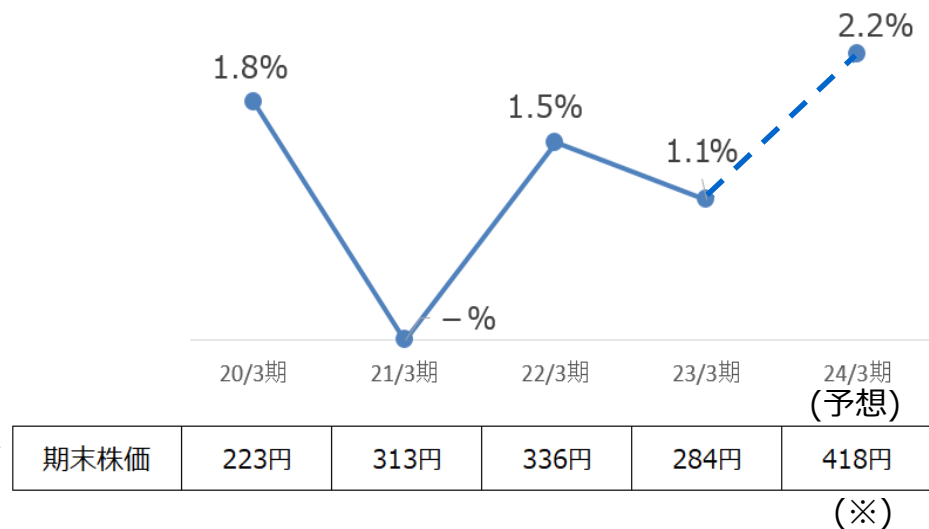
株主還元

- 24/3期 1株当たり配当金は**9円**を計画
- 中期経営計画として**配当性向25%**を目指す

1株当たり配当金、配当性向推移



配当利回り



期末株価	223円	313円	336円	284円	418円
------	------	------	------	------	------

(※)

※24/3期予想「配当利回り」は9/29終値をもとに算定

1株当たり当期純利益	0.08円	△9.46円	20.18円	△33.78円	38.97円
------------	-------	--------	--------	---------	--------

予測に関する注意事項



本資料には、当社グループの将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も十分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

株式会社京写

経営管理本部 経営企画部

HP: <https://www.kyosha.co.jp>

TEL:075-631-3193

FAX:075-631-8370

E-MAIL: ir@kyosha.co.jp